

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「復興支援プロジェクト 笑顔(^o^)届け隊！」

東日本大震災による被災地への支援を目的に、毎月第2・第4土・日曜日にボランティアを募り、バスをチャーターして、宮城県石巻市や女川町でがれき撤去、炊き出し・花壇の花植え・救援物資の配布やカラオケ大会の開催などを行っている「復興支援プロジェクト笑顔(^o^)届け隊!」のみなさんを岡村市長が訪問。現地での活動内容や被災地への思いを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので9月です。残暑が続いていますが健康に留意していただきたいと思います。今月の市長のふれあい訪問は「復興支援プロジェクト笑顔届け隊!」のみなさんです。どうぞよろしくお願います。始めに代表の藤吉さんにお聞きしますが、この団体はどのような組織なのですか。

藤吉 環境に携わる「NGO MIRA(魅来)」が母体となり、東日本大震災に際し、復興支援プロジェクト「笑顔届け隊」を立ち上げました。

市長 どのような思いで立ち上げたのですか。

藤吉 震災直後に物資を集めて被災地に行ったのが始まりです。行く途中、みんな何のために行くのか深く考えました。そのとき、現地の人を元気にし、笑顔にさせる、笑顔を届ける、「笑顔届け隊」にしようということになりました。

市長 いつから活動しているのですか。



芝塚 私は、3月18日に代表と一緒に被災地に行きましたが、まだまだ人出が足りませんでした。そこで4月23日から第2・第4の土・日曜日にボランティアを募って、バスをチャーターして石巻市に行っています。

市長 「笑顔届け隊」にはどんなきっかけで参加したのですか。

吉川 私は、被災者に寄り添う支援をしてあげたいとずっと考えていたので参加しました。

市長 毎回何人くらい参加するのですか。

藤吉 人数は毎回変わりますが、ゴールデンウィークがピークで、だんだん減ってきています。

市長 今回の震災の復旧・復興には、長い時間がかかるのでぜひ地道に続けてもらえれば有難いですね。ところで現地の様子は どうですか。

新井 私は6月に初めて現地に行きました。最初から参加して

いる人によると復興が進んでいると言われたのですが、私自身にとってはものすごい衝撃を受けました。おなじみ五感を使得感じるものは、ニュースなどでは感じる事ができないものでした。

市長 私も4月に宮城県気仙沼市に行きましたが、同じ日本とは思えなかったです。五感で感じることは大事で、特にテレビや新聞では伝わってこないですね。

現地では被災者の方とも交流されているのですよね。

高木 はい。避難所に行きました。初めはどやどやって声をかけていいのかわからなかったのですが、勇気を出して声をかけたら、とても優しく接してくれ、津波のことも話してくれました。

市長 笑顔が届けられましたね。避難所の中でも活発に活動されていますね。

穴戸 私は、縦笛で「ふるさと」を演奏しましたが、みんな涙を流しながら聞いてくれたことにすごく感動しました。強く生きていく姿勢にこちらが勇気をもらって励まされました。

市長 ほかにどんな活動をしていますか。

芝塚 一番メインにしていることは、みなさんの気持ちを明るくする手段として、バスの中でカラオケをし、歌でストレス

を発散してもらっていることです。また、花を植えたり、炊き出しをしたり、子どもたちと一緒に遊んだり、お年寄りからのお話を聞くということもしています。

市長 皆さんが、一生懸命やっていることは非常にありがたいです。本当に嬉しく思っています。では藤吉さんから今後の抱負をお話しいただければと思います。

藤吉 参加者一人ひとりの笑顔が被災地の人の笑顔につながるの、どんどん笑顔の花を植えていきたいなと思います。アクションを起こすのは今です。今できることを微力でもいいから精一杯やっていただきたいなと思います。これからもそのためにもみなで力を合わせてやっていきたいなと思います。

市長 市民のみなさんも何かできることからやっていただければありがたいと思います。今日

